

# しんにちは つるおか

No. 103

## —ユネスコ食文化創造都市・鶴岡を世界へ

さ さ き まさゆき  
佐々木 雅幸 さん



文化庁文化芸術創造都市振興室長。同志社大学経済学部特別客員教授、大阪市立大学特任教授。「創造都市」研究の第一人者。国内外の創造都市や創造経済に関する研究を進めながら、創造都市ネットワーク日本の顧問を務めるなど、創造都市ネットワークの推進に尽力。ユネスコ創造都市ネットワーク加盟認定記念式典の講師として来鶴。愛知県出身。

「創造都市」とは「市民一人ひとりが創造的に働き、暮らし、活動するまち」のことです。平成7年頃、金沢大学で都市や文化と経済の関係について研究をしていたとき、ヨーロッパの地方都市をモデルとする「創造都市」という考え方に会いました。以来、約20年にわたり研究を進めています。平成16年にユネスコが、文学や食文化など7つの分野で創造都市ネットワークを創設しました。国内でも加盟への機運が高まっていることから、各地を訪れ加盟認定やネットワーク化へ向けのお手伝いをしています。

昨年12月に鶴岡市が、創造都市ネットワーク食文化分野で国内初の加盟認定という、意義深い成果を出されました。多くの方々の活動が実り、私も大変うれしく思います。鶴岡は在来作物や伝統料理が豊富で、1年を通して多様な食文化を楽しむことができますよね。また、在来作物の創作料理が提供されたり、在来作物を守り育てる農

家のドキュメンタリー映画が制作されたりと、食を柱とした文化産業が展開されつつあります。農業も創造的な産業として可能性があります。これらが、食文化創造都市としての鶴岡の特徴だと思います。

今回の訪問では外国の方と一緒に、羽黒山で精進料理を頂きました。冬の清らかな雰囲気の中で、印象深い体験をすることができました。この地ならではの精神文化や食文化を観光に結び付け、世界の創造都市へPRしてみたいと思います。この地ならではの精神文化や食文化を観光に結び付け、世界の創造都市へPRしてみたいと思います。鶴岡への理解も深まり、創造都市間の交流が進むことにもつながると思います。

ユネスコの世界遺産は登録がゴールですが、創造都市ネットワークは加盟認定がスタートです。皆さんの力で鶴岡の食文化を発展させながら、子供たちに食育を通して伝えるなど、次の世代へつなげてもらいたいです。そして、鶴岡の取り組みが国内だけでなく世界にも広がり、創造都市ネットワークの発展に大きな役割を果たされることを期待します。



記念講演の様子（2月15日／グランドエル・サン）

全て行った場合、多額の費用が必要となります。また、住民自らが主体的に取り組む生活環境整備は、住民の環



側溝清掃の様子

境美化に努めましょう。鶴岡地域の市街地では、毎年4月に道路清掃や側溝の泥上げなど春の一斉清掃を実施しています。市道の維持管理は、道路管理者である市が本来行うものです。しかし、住宅地内の生活道路の清掃や側溝の泥上げ作業などを、住民の皆さんのご協力を頂かずに市が全て行った場合、多額の費用が必要となります。また、住民自らが主体的に取り組む生活環境整備は、住民の環

**A** 行政と市民の協働で環境美化に努めましょう

私は鶴岡地域の市街地に住む者です。毎年春に、町内会で側溝清掃をしています。高齡のため作業が大変になってきました。そもそも市道の維持管理は市が行うべきではないのでしょうか。

**Q** 側溝の泥上げについて

**声**  
voice

市への意見や質問、広報を読んだ感想などをお寄せください。

◎送り先 本所総務課

☎25-2111内線316

# 鶴岡が誇るもの<sup>と</sup>技

## MADE in TSURUOKA

鶴岡発の優れた技術やこだわりの逸品。その魅力や今後の展望を紹介します。

### 第7回 小型高感度CCDカメラ ～世界が注目する技術～

ワテック株式会社は、国内で初めてCCDカメラ\*の小型化とその量産化に成功した会社です。同社が川崎市で創業を始めた昭和62年頃、CCDカメラは大手家電メーカーが製作する大型のものが主流でした。他社との差別化を図るため、独自で電子回路の設計と感度増幅技術の開発に着手。試行錯誤の末、従来型に比べ大きさは4分の1、重さは8分の1、価格は20分の1で、暗闇でもはっきりと映像を映し出すことができる、小型で高感度のCCDカメラの商品化を実現しました。

創業当初はベンチャー企業だったこともあり、知名度よりも技術力で勝負できる海外市場に狙いを定めました。試作品をアメリカの展示会に出品したところ、性能の高さが大きな反響を呼び、セキュリティ事業を中心に需要を獲得します。

その後、平成2年に山形工場を東根市に設立し、平成8年に首都圏でなくても海外との取引はできるとの考えから、創業者・五十嵐重美氏の出身地である鶴岡市へ本社を移転します。現在では、販売先の約8割を海外が占め、欧州やアジア、北米などを中心に、世界65か国と取引を行うグローバル企業となりました。



社長の五十嵐重人さん

同社製品の特徴は、世界一といわれる高い感度と、厳しい環境の中でも動作する高い信頼性です。そ

■問合せ／本所商工課 ☎25 - 2111内線593

のため銀行、美術館、大使館、鉄道、警察、デパートなどで利用される治安・防犯用監視カメラをはじめ、工場で製品計測や検査を行う生産管理カメラ、人工衛星用カメラ、天体観測用カメラ、医療用カメラ、スポーツ競技用カメラなど多岐にわたり活用されています。また、注文数が少ない、開発が難しいなどの特注品の開発にも取り組み、同社の生産数の大半はカタログにない特注品が占めています。

このような製品展開を支えているのは、顧客の要望に応じて製品を作り上げる、技術力と営業力です。顧客の注文に対して「『そのような製品はありません』とは決して言いません」と、同社社長の五十嵐重人さん。社員が本気で面白いと思うことを、失敗も体験させながら積極的に取り組ませる人材育成にも力を入れ、必要な製品を必要なときに提供できる会社づくりを目指しています。

スマートフォンやドライブレコーダーなど生活の身近なところで、小型のカメラが利用され、今後も一層普及していくことが予測されています。高齢者の見守りや犯罪の防止など、社会の安心・安全を見守る役割を、より小型で高感度のカメラが果たすことも期待されています。このような将来を見据えた製品開発に取り組み「大きな利益よりは長く事業が継続できることを重視したい」と、五十嵐さんは今後の経営方針を語ってくれました。

※CCDカメラ…光の明暗を電流の強弱に変換する半導体素子（電荷結合素子）を利用したカメラ。

境美化に対する意識高揚にもつながります。このようなことから本市では、行政と市民の協働の取り組みとして、町内会等を主体とする道路の清掃作業や側溝の泥上げ作業を推進しています。

#### ■皆さんが協力し合って

側溝の蓋を開ける作業や泥上げ作業など、高齢の方にとっては重労働です。住民の皆さんが協力し合い、力仕事と軽作業の役割分担などの工夫もしながら、コミュニティ活動の一環として生活環境の整備に取り組んでいただくようお願いいたします。なお、本市では、側溝の蓋を開ける器具を貸し出しています。また、深い側溝や集水ます、暗渠管などの清掃が困難な場所については、業者派遣等の支援を検討します。いずれの場合も町内会等を通じて、本所土木課 ☎内線490へお問い合わせください。

#### ■快適で安全な暮らしへ

側溝に泥が堆積すると、排水が滞留し、悪臭や害虫の発生源になります。また、側溝があふれやすくなり道路が冠水することもあります。清掃活動は快適で安全な暮らしにつながります。皆さんのご理解とご協力をお願いします。